



♪ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ♪

「社教かわら版」も4年目となりました。今年度も、中部教育事務所管内で活動する社会教育団体等の様々な活動を紹介していきます。今回は、人権啓発と文化協会の活動について報告します。



人権教育の取組み 紹介



各市町村(学校組合)や社会教育団体では、さまざまな人権課題の解消に向けて研修会や講演会を開いています。今回紹介する研修会は、それぞれの講師の方の持ち味を活かした魅力ある研修会でした。各市町村(学校組合)での研修会にも参考になるのではないかと思います。

高岡地教連 【人権教育部会】第1回研修会

6月23日
(火)

★子どもたちをめぐるネットトラブルが課題に！

4月に行われた部会総会で、研修会の方向性について話し合いを行いました。課題として特に多かったのは、「インターネットやスマートフォンに関する問題」と「支援が必要な子どもへの対応」についてでした。

参加者は、急速に進んでいるネットトラブルに対して驚きをもち課題を再認識したようでした。



発達段階に合わせた持たせ方やルールづくりが必要です。

「ほんとに知ってるの」

～コミュニティサイトの危険性について～

講師：山中千枝子先生(千斗枝グローバル研究所代表)

第48回土佐町 人権教育研究大会・ 人権啓発講演会

6月27日
(土)

★ 地域ぐるみで人権を学ぶ

人はどんなときに‘笑う’のでしょうか。みなさんは考えたことがありますか？小学5・6年生・中学生・保護者・地域の方が、真剣に話を聴いていました。笑いを交えながらも人権について考えさせられる講演でした。

いじめや差別にはルールがないから安心できないのです。



「‘笑い’で考える人権」

講師：笑福亭 松枝さん(落語家)

担当より：それぞれの研修会・講演会に参加して思ったことは、ルールやきまりを守ることが自分や相手の人権を守ることに繋がっていることです。【安心＝笑顔】笑顔あふれる地域社会にしたいものですね。(野村)



中部管内 2つの文化協会の活動紹介



高岡地区文化協会 総会と研修会

◆世界に発信、地域の宝(文化)！

平成27年6月12日(金)、越知町の「横倉山自然の森博物館」で高岡地区文化協会の総会と研修会が行われました。

この日、高岡地区(土佐市・須崎市・日高村・佐川町・越知町・津野町・梶原町・中土佐町・四万十町)の各市町村から文化協会会員が越知町に集結しました。

総会では、今年度の活動等について熱心な協議が行われ、研修会では、「横倉山自然の森博物館」の安井学芸員より、世界に発信できる価値ある展示物について説明がありました。参加者は、それぞれの展示物と説明に、驚きの声を上げ、説明に聞き入っていました。

本総会は、各市町村の輪番制で毎年開催されていますが、それに合わせて各地域の文化的施設等で、このように研修を行っています。

どの地域にも、世界に発信できる宝(文化)があります。地域の文化を学び、広げ伝えていきたいですね。



日本最古の化石(コノドント)や「横倉山は赤道付近からやってきた！」の説明に一同ビックリ。博物館の設計は世界的な建築家、安藤忠雄氏。牧野富太郎博士の研究成果や安徳天皇御陵参考地に関する資料も展示されていました。

中央地区文化協会 第34回『東西南北まわり舞台』



◆大盛況。湧き上がる情熱！ジャンルを超える舞台の力！

平成27年6月28日(日)、今年度で34回目となる中央地区文化交流発表会「東西南北まわり舞台」が、いの町役場1階の「いのホール」(今年度完成)で開催されました。

この発表会は、開催地が輪番制で各市町村を回ることから「東西南北まわり舞台」と呼ばれていて、毎年、文化協会と各市町村が連携して運営を行っています。

今年度は、いの町文化協会が中心になり、各文化協会やいの町と連絡調整を行い、開催準備を行いました。当日は、200人を超える人が集まり、立ち見が出るほどの大盛況となりました。

和太鼓、弦楽器、舞踊、歌謡、マジック、詩吟、バンド演奏、フラダンス等、日頃鍛えた技術の素晴らしさに、観客は拍手喝さいとなり、会場は熱気に包まれていました。

それぞれジャンルは違えども、各文化協会がお互いに協力し、一つの舞台を作り上げていく情熱に感動すると同時に、社会教育の底力を感じることができました。

来年度は、高知市の春野ピアステージで行われる予定です。ぜひご参加ください。



担当より : 文化活動は各地域を豊かに、そして元気してくれます。今後の活動も楽しみです。(安部)